

市では、「市民が主役の魅力あるまつど」をテーマに、さまざまな角度から街の魅力をお伝えする企画特集号を年2回発行します。
 「地域とのつながり」「人とのつながり」を大切に、市内各地で行われている市民活動や、街のふしぎな場所・おもしろい場所等にスポットを当て、市の魅力の再発見につながる情報を掲載していきます。
 特集号の作成には、企画段階から市民に参加をいただき、これまでの市からのお知らせ情報だけではなく、魅力的な情報発信を目指します。

市民の皆さんの活動が、地域の魅力につながっています

知っていますか？ 市民活動

流通経済大学の新松戸キャンパスがある「松戸市」。自分たちが学生生活を過ごす「松戸」の魅力を探るため、私たちは地域で活動する人々取材しました。街づくりへの関わり、それぞれの活動への思い、人々とのつながりなどについてお話を聞き、感じたことを学生の目線でお届けします。



市民活動って何だろう？



市民活動とは、地域課題の解決に向けて、市民が自主的に地域社会をより豊かにしていこうとする、営利を目的としない社会貢献活動です。地域の美化活動をする、子どもたちを支援する、環境問題に取り組む、高齢者を見守るなど、地域や社会・人々が日常生活を気持ちよく豊かに暮らせるようにするために、自発的に取り組んでいます。
 活動の担い手としては市民個人、町会・自治会、NPO法人・ボランティア団体、事業者等があります。
 現在ではあらゆる分野で広がりを見せており、街づくりの大きな力となっています。

活動にはどんな分野があるの？

市民活動は、生活全般に関わるため、活動分野も多岐にわたります。保健・医療・福祉の増進、社会教育の推進、学術・文化・芸術・スポーツの振興、環境の保全、災害救援など、社会のさまざまな分野があります。NPO法人の分野については、特定非営利活動促進法第2条により20分野に定義されています。

市民活動の分野

- 例えば……
- 保健・医療・福祉の増進
 - まちづくりの推進
 - 学術・文化・芸術・スポーツの振興
 - 環境の保全
 - 災害救援
 - 地域安全
 - 国際協力
 - 子どもの健全育成
 - 観光の振興

主な市民活動団体の種類

町会・自治会

地域に住む人たちが親睦や交流を深め、支え合い助け合いながら、より住みやすい豊かな地域づくりのために、防災・防災・環境美化・福祉・レクリエーションなどさまざまな活動を行う、自主的に組織された任意団体です。

NPO法人

NPOとは、「Non Profit Organization」の頭文字をとったもので、さまざまな社会貢献活動を行う非営利組織のことです。非営利＝無償で事業を行うのではなく、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としないということです。収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益はさまざまな社会貢献活動に充てることになります。このうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人をNPO法人といいます。

ボランティア団体

社会の課題解決のために個人の自由意志で行うもので、自分のためではなく、他人や社会に貢献する行為を行う団体です。性格として「自主性（主体性）」、「社会性（連帯性）」、「無償性（無給性）」等が挙げられます。

社会教育関係団体

社会教育法に定められた、主に社会教育に関する事業を行うことを目的として継続的・計画的に活動している団体のことです。松戸市では、認定登録された団体が、市民センター等で文化芸術に限らずさまざまな学習活動を行っています。



市民活動に興味をもったら

「どんな市民活動のグループがあるのか知りたい」「市民活動のイベントに参加したい」など、活動に興味をもったら、下記へお問い合わせください。



- 町会・自治会=市民自治課 ☎366-7318
- NPO法人・ボランティア団体=まつど市民活動サポートセンター ☎365-5522
- 福祉ボランティア=(社福)松戸市社会福祉協議会・地域福祉推進センター ☎362-5963
- 社会教育関係団体・文化系=矢切公民館 ☎368-1214
- 社会教育関係団体・スポーツ系=スポーツ課 ☎703-0601



自分たちの住む街や人々、そして自然や歴史を守り伝えていくために、市内では多くの市民団体が日々活動をしています。

私たちは、さまざまな活動で街づくりに関わっているいくつかの団体取材し、その活動内容についてお話を聞いてきました。



毎年開催している防災訓練では、仮設テントの設営や消火訓練・救助訓練などを行っています。1人でも多く参加してもらい、「顔見知り」が増えるよう、さまざまな工夫を凝らしています。写真右は倒壊家屋からの救出訓練の様子です



公園に設置された防災倉庫の中には組み立て式の仮設トイレもあります。僕たちでも簡単に設置できました

取材で感じた
ここがスゴイ!

虹の街町会 (町会・自治会)

防災

～顔の見える街づくり～ 活動から防災のあり方を考える

松戸の防災について考えるため、自主防災意識の高さが県外からも注目された虹の街町会を取材しました。JR馬橋駅の西側に面した東西約1.5km、南北200mという細長い町会で「顔の見える街づくり」を理念として掲げ、防災活動を行っています。災害などの緊急時、町会内の人々が顔見知りでなければ、より多くの命をより効率的に救うことができないと強く考えているからです。そのため、工夫を凝らした訓練が行われ、身近なコミュニティを密接にした防災組織を築いています。また、大災害時に地域リーダーが果たす役割も訓練の大きな目的の1つです。

● 主な活動内容 ●

- 虹の街町会自主防災組織を編成・運営
- 防災訓練の実施 (避難・救出・炊き出し・煙道・消火など)
- 町内3カ所の公園に防災倉庫を設置および管理
- 町内約100カ所に消火器を設置および管理



自助・共助の役割を組み合わせ、団結して地域防災力を高めたい

これまで、町会の一部組織として活動してきましたが、今年5月に「虹の街町会自主防災組織」を立ち上げ、大災害時に町会全体が組織的に活動できるようにしました。日常的に自助・共助の役割を組み合わせることにより、公助の手が入るまでの時間を地域で守れるよう、地域住民で団結し訓練や啓発活動を継続していきたいと思っています。

虹の街町会防災部長・齋藤次郎氏



街の至るところに置かれた消火器や、公園に設置された防災倉庫を実際目にして、自分が住んでいる街に比べ、防災意識の高さを感じられました。見習える部分は他の市町村や町会でも共有し見直すことで、東日本大震災以降注目された地域の防災意識を向上させることができるのではないかと感じました。

松戸市リーダーズクラブ (ボランティア)

青少年 育成

地域とのふれあいを 感じるここのできる場

松戸市リーダーズクラブは、松戸市子ども会育成会連絡協議会でレクリエーションなどの研修を受けた小学校6年生から社会人までのジュニアリーダーで構成されています。子ども会の子どもの良きお兄さん・お姉さんとして、集団レクリエーションや野外活動の指導などを行い、活動を盛り上げています。キャンプでは、参加した子どもたちにテントの張り方や薪を使っての飯ごう炊飯などの指導を行います。キャンプで適切な指導を行えるよう、事前に研修会を行い、技術の習熟に努めています。

● 主な活動内容 ●

- 市子ども祭りでの協力
- 市内子ども会のレク指導・運営補助
- 松戸市子ども会連絡協議会のキャンプ大会・行事への協力
- 上期・下期自己研修会など



自分たちの活動を知ってもらい子ども会を盛り上げていきたい

子ども会の会員として参加したキャンプで、飯ごう炊飯やレクの楽しさを知り、リーダーズクラブに入りました。自分たちで企画を考え、協力しながらイベントを作り上げます。参加した子どもたちが、僕たちの活動を見て「ジュニアリーダーになりたい!」と思ってもらえるよう、活動を盛り上げていきたいです。

松戸市リーダーズクラブ代表・川上泰輝さん

取材で感じた
ここがスゴイ!

リーダーズクラブは常に笑顔で、時に真剣な顔で作業に取り組む、地域を支えているボランティア団体でした。社会人となったメンバーも、仕事の合間を見て参加し、先輩メンバーが下準備や片付けなど率先して行い、新人メンバーに優しく手本を見せながら指導していました。年齢問わず交流を持つことのできるリーダーズクラブの一員になることができ、地域とのふれあいをを感じるここのできる場でした。



当日はあいにくの雨でしたが、みんな丸となってテントを設置し、ハヤシライスを調理。火の当たりが悪いとおいしくできないので、目が離せません



レクで行う手遊びの練習をしています

松戸シティガイド (ボランティア)

観光

これからも松戸のいいところを アピールし続けていく

松戸シティガイドとは、松戸を訪れた人に観光スポットを紹介するガイドツアーや、戸定邸に常駐して案内を行う、約50人の会員を有するボランティア団体です。他にも、季節毎や長期休みにはイベントを企画し、緑の回廊ツアーや桜の戸定茶店、夏休みの親子向け探検ツアーなど人気を集めています。



これらの活動は、運営拠点ともいえる「松戸探検隊ひみつ堂」と協力していて、こちらは松戸駅近くの古民家を改装した趣のある観光案内所です。観光客だけでなく、市民も訪れる交流の場になっています。

夏休みに戸定邸で開催した親子向けの探検ツアーは、普段は立ち入れない場所も盛りだくさんでガイドしました。子どもたちはクイズを通じて戸定邸の歴史を楽しみました



観光案内所「松戸探検隊ひみつ堂」には、各種観光パンフレットやお土産があります

- 松戸の観光案内
- 市内の観光スポットの紹介
- 観光イベントの企画運営

松戸のいいところをもっと伝えて、若い人たちの松戸のイメージを良くしたい

今の若い人たちの中には、松戸の歴史や文化にあまり馴染みがなく、関心が少ない人もいます。そうした若い世代に対して、松戸の良い部分を伝えて関心を持ってもらうことが、私のひとつの目標です。同時に、シティガイド側にも、若い人たちに参加していただいて、更に活気のある活動にしていきたいですね。



松戸シティガイド相談役・石上瑠美子氏

取材で感じた
ここがスゴイ!

松戸シティガイドの会員は、一人ひとりが松戸に対しての強い愛を持っていました。会員は高齢の人も多いのですが、松戸のいいところをアピールするために、通常のツアー運営や新たなイベントの企画を継続しています。このパワーは、私たち若い世代を奮起させるようなスゴさを感じました。

学生レポーターが取材!

地域で活動する 市民団体をご紹介します

市立博物館友の会 (社会教育関係団体)

歴史・文化

歴史や教養を楽しく学び 市民と博物館をつなぐ存在

平成14年6月、博物館や歴史を愛する市内に住む人たちが集まり、市民主体で設立されました。現在の会員数は約260人、同館と共に歩みながら、同館展示会での講演会やイベント共催などの支援活動を行っています。

また、テーマごとの学習部会による会員の学習活動や、市民および児童へのボランティア活動なども行っています。主に同館内で活動していますが、歴史見学会など館外活動も実施し、交流を深めながら楽しく知識や教養を高め、博物館が市民にとって身近な存在となるよう活動しています。

● 主な活動内容 ●

- 会員同士が歴史や文化を楽しく学べる学習部会での学習活動
- 博物館の応援団としての支援活動（講演会・イベント共催など）
- 米づくりなどの児童体験教室を支援するボランティア活動
- 会報の発行（年6回以上）

会員の学習活動として行う歴史見学会では、関東一円の古墳や史跡・街道などをバスや徒歩で訪ねるそうです。個人ではめったに見られない場所へ行くこともあり、会員に好評とのことでした



米づくりでは、農作業の過程を1年かけて小学生に体験指導を実施しています。こうした活動を通じて、時代とともに忘れ去られてしまう昔ながらの生活文化を語り継いでいます

博物館の応援団として、地域と同館をつなぐ架け橋でありたい

かつて常盤平岡地などに転居した新住民が団塊の世代となり、私たちの世代が子どもたちに歴史や文化を伝えていく必要性を感じています。定年を迎え第2の人生を生きる中高年の人に会員になってもらい、歴史や文化を楽しく学びながら、博物館の応援団として地域の人々と同館をつなぐ架け橋でありたいと思います。

市立博物館友の会会長・岡田啓時氏

取材で感じた
ここがスゴイ!

取材をするなかでステキだなと思ったことは、会報を必ず年6回以上発行していることです。活動になかなか参加することができない会員さんも、会報を待ちにしているとのこと、「会報を発行することは会員に対する責務です」と語られたのが、会員に対する心遣いを感じさせ、とても印象的でした。

アースコン・マツド (ボランティア)

常に地球環境・生活環境を 意識して行動する

環境

アースコンのアースはEarth（地球）、コンはConscious（意識する）という意味を持っています。千葉県知事から委嘱された千葉県地球温暖化防止活動推進員が中心となって、地球環境、生活環境を守るために活動している団体です。

ボランティアとして、自ら地球温暖化防止活動を実践し、環境政策課とともに、地球温暖化の現状および防止対象の普及啓発に努めています。

子ども向けには環境講座や学校での出前講座など、大人向けには成人環境講座やエコクッキング教室も開催しており幅広い世代を対象にした環境講座に取り組んでいます。



新松戸南小学校での出前講座。アースコン・マツドが自分たちで作成した実験器具やスライドを用いた授業の様子です。子どもたちは真剣に参加し、メモをとっていました

忘れないで。温暖化にも目を向けてほしい。

もともと私は、普段の生活から環境に気にはしていましたが、ボランティア活動に参加したのは、市の「ゴミウォッチング」というゴミ拾いがきっかけでした。地球温暖化は取り返しのつかない問題であることを皆さんに理解してほしいです。今こそ、環境問題へ目を向けて、意識を変えてほしいと思っています。

アースコン・マツド代表
川上和子氏

取材で感じた
ここがスゴイ!

廃傘で作る「エコバッグ」や「エコ万華鏡」など、不要になったものの利用価値を、代表の川上さんやその場の皆さんで伝えてくださるその姿には、アースコン・マツドが培ってきたチームワークがありました。

また、出前講座の教材には手作り、自転車を利用した発電機などもあり、団体の高い行動力を感じました。



大好評のエコクッキング教室は、エネルギーや食材の無駄を省く調理法を実習します。今回は減CO2対策の「緑のカーテン」で収穫したゴーヤを使用

● 主な活動内容 ●

- 子ども向け・大人向け環境講座
- エコクッキング教室・マイバッグ自作教室等
- 学校の授業へのお出前講座
- こども環境フェスティバル等のイベント

学生レポーターとして
初参加!

広報紙づくりを体験して、 感じたこと・学んだこと

担当 松戸市
リーダーズクラブ、
まつどふしぎ発見

潮田悠(法学部3年)
佐々木堯矩(法学部3年)
水戸瞭(法学部3年)

自分が普段通っている町に顔だけの大仏や、団地のオブジェがあることを知り、住んでいる町にも何かあるのではないかと探してみたくまりました。(潮田)

広報紙づくりという普段ではできない体験をさせていただき、勉強になりました。自分たちが通う松戸では、活躍する人や思わぬ謎も発見でき、驚きの連続でした。(佐々木)

初めての広報紙づくりということで、期待と不安でいっぱいでした。活動の中で松戸の魅力や活躍している人を知ることができてとても楽しかったです。(水戸)

担当 虹の街町会、
市立博物館友の会

今野香代子(法学部3年)
高田純(法学部3年)
長居弘樹(法学部3年)

広報紙づくりに携わり、記事の構成などを考えたりするのがたいへんでしたが、なかなかできない貴重な経験をさせていただきよかったです。(今野)

体験を通じて、1つの記事を作り上げるためにさまざまな人々の協力が必要だと改めて感じ、社会人になるための良い勉強ができたと思います。(高田)

市に住む人々がさまざまな市民活動を行い、魅力的で豊かな市にしようという真剣な思いを知ることができ、感動しました。(長居)

担当 アースコン・
マツド、
松戸シティガイド

阿部英未弥(法学部3年)
神保美帆(法学部3年)
鈴木諒(社会学部3年)
戸張健太郎(法学部3年)

広報紙の作成という貴重な体験をさせていただき、市民団体について知ることができました。取材させていただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。(阿部)

広報紙づくりには、発表のお手伝いくらいの参加でしたが、少しでも皆さんに協力し、関わることができてよかったです。(神保)

広報紙を作る担当者さんの努力が感じられました。普段は広報紙を見ない人にも、この機会に見ていただけたらな、と思います。(鈴木)

広報紙の作成は自分には荷が重いのですが、仲間や市役所の職員さんのサポートで発行できました。非常に有意義な体験でした。(戸張)

素朴な
ギモン

まつど ふしぎ発見

街には不思議なことが
いっぱい。私たちが見つけ
た&感じた素朴な疑問につ
いて調べてみました!

五香に顔だけ大仏? 実はプラスチックでできてるんです!!

五香消防署の通り沿いで行き交う車や人々を眺めている
大仏が!!この大仏は、昭和51年に(株)翠雲堂が制作した乗
蓮寺(東京都板橋区)にある唐金大仏の縮小版です。唐金
大仏は、全身だと高さ8mにも達し、制作当時、青銅では東
大寺、鎌倉に次ぐ3番目に大きい大仏だったそうです。翠雲
堂が初めて制作した大仏の型を記念して置いてあるそうです。

テレビドラマにも
出演する人気者です



新松戸駅に 赤い鳥居が!!

駅を出て最初に目に飛び込んでくる赤
い鳥居!実は「あかりのボックス」とい
う名称です。「歩行者快適事業」の一環
で平成14年度に作られた赤く目立つあ
かりのボックスは、不思議な印象を与え
ますが、以前は安全面などで問題があっ
た薄暗い高架下が明るく、温かみのある
空間になりました。



学生から
「受験に合格しました」
と連絡が。
ご利益があるかも!?

街路樹に謎のモニュメント?

~常盤平団地の形のモニュメント~

樹木の切り株の上にミニ常盤平
団地を発見!常盤平にアート作品
を増やしていこうという「常盤平
アートプロジェクト」の一環で、
寿命が尽きたなどの理由で伐採し、
自然に枯れるよう切り株として放
置してあったゆりの木に、白濱雅
也さんがデザインした星型住宅を
彫刻しました。

築後約50年経つ星型住宅。
スターハウスとも呼ばれ、団
地マニアには人気ナンバー1
だそうです。



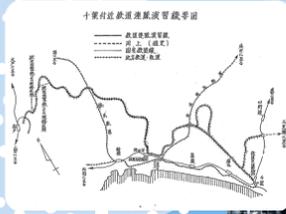
あめりかふう
という樹木

松戸にある 外国の道路名の謎 ~あめりかふう通り・ たいわんふう通り~

小金原地区にあるこの
通りの名称は、外国の街
並みに似ているからでは
なく、通りにある植栽に
由来しています。通りの
始点・終点には目印とな
る看板が設置してあるの
で、散策しながら通りの
名前探しをしてみるのも
楽しいかもしれません。

新京成線に カーブが多いのはなぜ?

新京成線にカーブが多いのは、
戦争中、敵の爆撃を避けるために
蛇行して敷設されたという説を聞
いたことがあるかもしれませんが、
その説は間違いだそうです。新京
成線の前身がかつての運用線で、
旧日本陸軍がドイツの鉄道部隊を
手本に訓練用として敷設した路線
で、訓練に長さ45kmを設けなけ
ればなりません。千葉-津田沼
-松戸を直線で結ぶと27kmしか
ないため、残り18kmを右へ左へと
蛇行させて距離を稼いだためカー
ブの多い路線となったそうです。



市内に747本、4.65kmあり、うち415本
2kmが小金原地区に植えてあります

たいわんふう
という樹木

118本、0.65kmが
小金原地区に植えてあります

広告

広告スペース